



「令和」のはじめに

「ガッチ」レンタルします

昨年、宇光建設様に「ガッチ」を借りていただきました。当社としては、「ガッチ」の実績になれば良いとの思いで、ガッチの整備費用は頂戴しますが、レンタル料は要りませんと、お話を進めていたのですが、この度、宇光建設様より、「ガッチ」のレンタル代をいただくことができました。ありがたい話です。未知への挑戦を進める当社にとって、同業者から応援いただけるのは本当に感激です。

いただいたレンタル代は、さらなる開発に使わせていただきます。



元号が「令和」に変わりました。元号が変わったのを契機に、新しいことを始めたり、いろいろなことがマスコミで報道されています。

「令和」の始まりを、ひとつの区切りとして考えることは良いことです。

ビジネスは時代と共に変化していきます。今やデジタルの時代で、コンピュータは必需品になりました。

建設業でも、商業ビル・オフィスビルは鉄骨造が主流になり、鉄筋コンクリート造の建物は減少傾向にあります。今後の建物の構造種別の変化は、従来の流れからの延長線で考えると、鉄骨造の増加傾向は間違いのないところでしょう。当社の主業である型枠工事の建設業全体に占める割合が減っていくことが予想されます。

今、さかんに叫ばれています、働き方改革も、少子高齢化の流れを受けて、今後も労働時間の短縮傾向は続くと思われまます。働く人口が減っていくのだから、それで労働時間を短縮すれば生産量はますます減少していきます。日本のマーケットは縮小して

いくのでしょうか。その中で若者の減少が進むので、若者の獲得競争が激しくなることも予想されます。

また、インターネットやAI(人口知能)も、ますます普及していき、一部の業種には革命的な変化が発生するかもしれません。すべてのものが、インターネットを通じてコントロールできる、IoTの時代が現実化しつつあります。

通信も5Gと言われる、超高速通信が始まれば、また私たちの生活環境もガラッと変わるのかも知れません。移動手段でも、ガソリン・軽油を燃料として走る車から、電気自動車への転換が始まりつつあります。それに連れて、電池の研究が盛んに行われており、その影響で建設現場で使用する工具も大きく変化して行く可能性があります。

医学の世界でも、飛躍的な進歩により人の寿命がさらに延びていくものと思われまます。

こうした変化を、先読みして自らへの影響を考え、業態に組み入れていかねばなりません。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

安全は整理・整頓から

良く言われる言葉です。昔から幾度となく、繰り返し繰り返し、言われ続けてます。

整理・整頓は簡単にできると思われがちですが、これを完璧に実現することは非常に困難です。現場の状況は日々変化します。日々の中でも刻々と変化し、目まぐるしい

ほどです。材料の搬入・搬出・移動、人の配員、前工程の遅延、予定外の出来事、いろんなことが発生します。

臨機応変に対応し、他業種との調整も図らねばなりません。

そうした努力の成果として、整理・整頓の状況が得られるのです。生半可に得られるはずがありません。

2019年 安全成績

■現場災害 2019.1.1-5.3	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 0
■交通災害 2019.1.1-5.3	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0